

公益社団法人全国大学保健管理協会
第2回保健看護委員会 議事要旨

I. 開催日時 開催方法

令和2年11月4日(水) 10:00~11:00 Web会議

II. 出席者

森正明(理事:慶應義塾大学) 吉田智子(委員長:千葉大学)

砂川昌子(副委員長:東京女子大学) 楠田康子(委員:神戸大学)

森福織江(委員:山口大学) 福盛文恵(委員:九州工業大学) 長沼敦子(委員:岩手大学)

計 7名

欠席者 佐藤希代巳(委員:小樽商科大学)

III. 議事

議事に先立ち、吉田委員長より4月以降の大学保健管理協会の最近の動き(人事、ワーキングGの発足など)について話があった。

1. レベル別研修会について

大学保健管理の基礎が学べていない初任者の看護職や研究集会等に参加できない看護職を対象にした「看護職初任者向け講習会」を関東甲信越地方部会保健看護分科会で試験的に実施することが決まった。対象を100人程度とし、2020年10月に都内で開催する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により次年度以降に延期した。

講習内容は、学生職員の健康診断、メンタルヘルス、保健室運営、感染症対策、外傷処置・救急対応とし、詳細はこれから検討する。本講習会実施後は実施方法や内容等をさらに検討し実施した後は、Web開催や全国各地での開催も検討していく。

2. 保健看護業務マニュアルの検討

すでに存在するマニュアルを読んで検討したが、範囲が大きすぎるため、まずは身近な看護業務の整理や基本的な業務から検討していく、一つテーマを決めて始める、保健指導、救急対応、応急処置などはどうか。保健指導に関するマニュアルであれば、初任者向け講習会の職員健診(特定健診)と関係するため、初任者向け講習会の講習内容を検討していく中で、マニュアル班と研修会班とで情報共有、意見交換する。看護職として対象の生活に視点を置いて作る。コロナ禍での業務マニュアルと言うより普遍的なマニュアルを作る。引き続きメールやWeb会議で検討し具体化する。

3. その他

看護職間で双方向メーリングリストなどを使って情報発信をする。

以上